

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなる	一般レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題や、参議院選挙によって、生活にどれほどの影響があるのかが分からない。ただし、夏休みに入れば、インバウンドの動きも激しくなってくるため、景気が悪化する要素は少ない。
(近畿)	やや良くなる	商店街（代表者）	・商店街に客足が戻り、通常の動きとなっている。なお、商店街では客の来店頻度を上げるために、偶数月にスタンプラリーによる抽選会を行い、奇数月に使用できる各商店のクーポンを配るなど、客の確保に努めている。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・新規得意先の店舗オープンや新規ギフトの受注があり、売上の増加が見込まれる。
		スーパー（企画担当）	・野菜の相場が少し上向きになっていることに加えて、夏物衣料の動きも良い。
		スーパー（企画担当）	・7～8月は売上も増える。6月後半からは若干であるが回復基調にあるほか、気温の上昇や天候の回復に合わせた売場の展開、夏物商品に対する客のニーズへの対応などで、更にも上積みできる。状況に応じた対応が重要である。
		コンビニ（経営者）	・ファーストフードや弁当、サンドイッチのほか、コーヒーの売上がまだまだ伸びそうで、客単価、客数共に向上することが期待できる。
		コンビニ（経営者）	・今年は猛暑ということで、ひきたてアイスコーヒーやフラッペ、カフェラテなどが多く売れ、来客数が増えると同時に、プラスワンの購入にも期待できるため、売上に貢献する。
		コンビニ（店員）	・梅雨が終われば、来客数も普段どおりに戻る。ボーナスの時期なので、もう1品を購入する客が増えることも期待できる。
		コンビニ（店員）	・暑さで飲料、アイス類の購入が増えており、外国人観光客も増えている。
		家電量販店（店員）	・去年は冷夏であったが、今年の夏は暑くなるという予報であり、エアコンの需要増が期待される。冷蔵庫のほか、リオオリンピックの関係でテレビの需要も増える見通しのため、景気は上向きになると推測される。
		高級レストラン（スタッフ）	・本格的な夏に向けて、ビールやシャンパンなどの消費が増え、客単価も上がる。
		観光型旅館（経営者）	・先の予約については、まだ動きがみられる。
		旅行代理店（経営者）	・消費税増税の先送りのほか、英国のEU離脱問題に伴う円高傾向は、消費者目線でいえば海外旅行の需要拡大につながる。
		タクシー運転手	・暑さでタクシーの利用率は少し上がるが、景気が良くなったわけではない。
		通信会社（社員）	・地方経済が再び失速し始めているように感じるが、今後は、格安なインターネットサービスや、自宅でのテレビ視聴が再度盛り上がることが予想される。
		競艇場（職員）	・売上全体もほぼ順調で、全国発売されたスペシャルグレード競走の売上も好成績であった。今後も向上することを期待している。
		美容室（店員）	・今夏の気温は高くなることが予想されるなかで、当店は顧客の年齢層が高く、夏場は外出を控えるとの声が多く聞かれるため、秋口に来店が集中すると予想される。
変わらない		一般小売店〔時計〕（経営者）	・予報では、今年の夏は猛暑になるといわれている。今以上に人の出足が鈍くなりそうで、かなりの落ち込みが予想される。また、地域の商店街でも夏祭りを企画するなど努力をしているが、子ども中心のイベントでは、親の財布を緩めるには程遠い。暑さに立ち向かえるだけの材料は見当たらず、かなり厳しい。
		一般小売店〔精肉〕（管理担当）	・選挙が行われる月はなぜか消費が低迷するため、夏休みへの影響が気になるが、ゴールデンウィークなどの様子を見てみると、食品販売に関する景気は決して良くならない。特に、競争が激化している分野でもあるため、悪く感じているのかもしれない。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	・変わる要素が全くない。
		百貨店（売場主任）	・百貨店の中・小型店や郊外店を取り巻く環境は厳しいため、今後については楽観視できず、少しでも食料品を中心に前年レベルの確保を目指したい。
		百貨店（売場主任）	・円高、株安傾向のなかで、消費マインドの回復には時間がかかる。

百貨店（企画担当）	・前年にインバウンド売上が急増した反動の影響は、今年の10月ごろまで続くため、売上の減少傾向が続くと予想される。
百貨店（営業担当）	・セール商戦は前倒しとなるが、今までの状況から現状維持が精一杯である。改装後の新ブランドによるセールに期待したい。
百貨店（商品担当）	・争点が定まらない参議院選挙や、英国のEU離脱問題など、消費税増税の延期による景気浮揚効果を待たずに、厳しい状況となっている。中国経済の先行きや米国の大統領選挙など、内需の先行きを含め、決して楽観できない状況は今後も続くと思われる。
百貨店（営業企画）	・世界経済の混迷や、米国の利上げの見送り懸念のほか、円高、株安など、外部環境が非常に悪く、個人消費が低迷する。ただし、英国のEU離脱問題は比較的早期に落ち着くとも考えられ、政府や日銀の主導による景気回復を期待している。
スーパー（経営者）	・リオオリンピックは開催されるが、英国のEU離脱問題による景気の先行き不透明感のほか、円高による企業業績の悪化が懸念される。参議院選挙もあるものの、社会保障などの将来不安の払しょくは難しく、財布のひもが緩くなる可能性は極めて低い。その一方、ラニーニャ現象による梅雨明け以降の猛暑予想が、過去2年続いた夏物商戦の不振の反動増につながると期待する。
スーパー（店長）	・今月の伸びは一時的なものである。2か月前までは昨年を少し下回る推移であったため、その動きが今後も続くと思われている。
スーパー（店員）	・これからはスイカや桃などのフルーツがよく売れ、野菜も単価が下がる一方、雨が続きと値上がりする可能性もあるため、あまり変わらない。
スーパー（社員）	・今後も競合が厳しくなることが予想され、店舗の売上は大きく伸びないという危機感を持っている。そのなかで、当社を含めた各社が積極的な需要喚起に取り組んでいるため、全体的な消費は当面堅調に推移すると考えている。
コンビニ（店員）	・まだまだ節約志向が続くため、大きな変化はない。
コンビニ（店員）	・景気がこの先も良くなっていく気配がない。
衣料品専門店（販売担当）	・客の購入頻度は上向かず、現状維持のまま推移する。
家電量販店（経営者）	・消費者の財布のひもが緩くなる要素が見当たらない。当面は消費を抑制する傾向が続くと感じる。
家電量販店（企画担当）	・今年の夏は良くない経済環境にあるものの、猛暑の予報であり、季節家電を中心に動きが出てくることで、結果的には相殺される。
乗用車販売店（経営者）	・車検や新車の予約台数が伸びず、一般修理の入庫台数も少ない。
乗用車販売店（営業企画）	・変わらないというよりも、分からない。
乗用車販売店（販売担当）	・販売台数が安定してきている。
住関連専門店（店長）	・受注案件は増えているが、単に当社が宣伝営業を強化したからであり、景気回復の影響ではない。
その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・7月は参議院選挙があるため、落ち着かない。そのほかの環境にも良い材料は少ないが、ボーナス時期であるため、化粧品、健康食品には力を入れて販売していきたい。
その他専門店〔食品〕（経営者）	・経済的に良くなる気配はないので、食品業界も良くなれないと思われる。更に下降する可能性の方が大きい。
その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・新しいカタログも出るため、しばらくはこの状態が続く。
一般レストラン（企画）	・英国のEU離脱問題による日本経済への影響がどの程度になり、それが個人消費にどのような影響を与えるかが分からない。大きくは変わらないものの、やや悪くなるとも予想している。
一般レストラン（店員）	・来店客には、仕事を持っている人よりも、年金をもらっている年配層が多いため、今後も来客数は大きく変わらない。
その他飲食〔コーヒーショップ〕（店長）	・単価を上乗せしても、消費者にはすぐに見抜かれていると感じる。商品価値を高める必要があることはよく理解しているが、原料高などを考えると、なかなか案が出ない。景気が上向くような材料も見当たらず、厳しい状況が続くと思われる。

	その他飲食 [自動販売機 (飲料)] (管理担当)	・今夏は猛暑の予報であるが、猛暑になると外出が減るため、自動販売機にはあまりプラス材料がない。
	観光型ホテル (経営者)	・7～8月はインターネット予約などで、ある程度は順調に先行予約が入ってきている。ただし、最終的に前年並みにまで伸びるかどうかは、予断を許さない状況である。
	観光型旅館 (経営者)	・天候に左右されるが、比較的良いと思われる。
	都市型ホテル (スタッフ)	・宴会や食堂部門は、予約数も明らかに上向いているが、宿泊部門の予約は伸び悩んでいる。今後のインバウンドの動向に左右される部分はあるが、国内旅行やビジネス利用に関する企画によって集客していきたい。
	都市型ホテル (スタッフ)	・宿泊は増収で、宴会は停滞という状況が続く。特に、宴会の先行予約が悪く、既存客による会合の動きが鈍い。
	都市型ホテル (客室担当)	・夏休みの需要などに昨年ほどの力強さがないほか、円高によるインバウンドの低迷が重なるため、厳しい状態が予想される。宿泊は何とか持ちこたえているが、宴会、レストランは苦戦している。
	都市型ホテル (管理担当)	・海外からの宿泊者は好調であったが、中国経済の減速、英国のEU離脱問題、円高などの不安要素が山積している。また、民泊なども不確定要素の一つといえる。
	旅行代理店 (支店長)	・参議院選挙が終われば動きが出てくるが、客の冷え込んだマインドが戻るのか、旅行意欲がわいてくるのか、疑問が残る。世の中の不安定要素を、客は敏感に察知している。
	旅行代理店 (営業担当)	・個人消費の復活に期待したいが、先行きは不透明である。
	タクシー運転手	・タクシーは必要最低限の利用となり、アクシデントや天候不順の場合に増える程度である。
	タクシー運転手	・一般客や企業関係の予約の動きを期待していたが、特に大きな増減はなく推移している。
	通信会社 (経営者)	・英国のEU離脱問題による国内への影響が不透明である。
	観光名所 (経理担当)	・今月は天候の影響か、来客数、売上共に良くなく、前年比で売上は6.5%減、来客数は3%減となっている。台湾や中国からの観光客の来場に変化はないが、あまり購買にはつながらず、景況感は良くない。
	観光名所 (企画担当)	・状況に変化はなく、どちらかといえば前年よりも厳しい。夏から秋にかけての集客に期待しているが、現状維持が精一杯とみている。
	遊園地 (経営者)	・来客数、販売量共に横ばいで推移しており、先行きにも明るい材料がないため、現状維持が妥当と判断される。
	その他レジャー施設 [球場] (経理担当)	・プロ野球の交流戦は終わったが、今後も人気球団の公式戦が行われるほか、多くのコンサートが開催されるため、多数の来場者を予想している。
	美容室 (経営者)	・今月は天候が悪い。年配の客が多い店であるため、来客数が前年比で1割減となった。来月はその分増えると思うが、カットが増える季節のため、売上はあまり期待できない。
	その他サービス [マッサージ] (スタッフ)	・オイルを使ったボディマッサージのため、暖かい時期になると来客数が増加する。
	その他サービス [学習塾] (スタッフ)	・生徒数は増えているが、受講する教科数が減っていることもあり、不安定で楽観視できない。
	その他サービス [ビデオ・CDレンタル] (エリア担当)	・夏のキャンペーンに向けての販促企画や、新店オープンの時期でもあり、売上アップを目指したい。
	住宅販売会社 (経営者)	・英国のEU離脱問題などが、どのように景気に影響してくるのか判断しかねている。
	その他住宅 [展示場] (従業員)	・消費税増税の延期により、期待していた駆け込み需要もなくなったため、展示場の来場数は昨年並みとなる。
やや悪くなる	一般小売店 [珈琲] (経営者)	・英国のEU離脱問題による円高や株安の影響で、消費が減退する。
	一般小売店 [花] (店長)	・これから夏本番で花屋には厳しい時期であり、売上も期待できない。
	百貨店 (売場主任)	・英国のEU離脱問題など、世界経済が非常に不安定であり、先行きが不透明な状況にある。国内においても、更なる株安や円高の影響が予想され、消費を支えていたインバウンドや高額所得者の需要が更に低下することが予測される。国内の消費全体は元々活発な状況ではなかったため、現状よりも良くなる要素が見当たらない。
	百貨店 (売場主任)	・高額品の購入客にも、不要不急の支出を控える傾向があるなど、先行きの不透明感に不安を感じる動きが、あらゆる層で出てきている。

百貨店（営業担当）	・英国のEU離脱問題に伴う円高、株安のほか、企業業績の悪化、先行き不透明感の広がりなど、富裕層の消費環境の更なる悪化が予想される。
百貨店（営業担当）	・世界的な政情不安による株価低迷で、富裕層の優良顧客による高額品の買上が手控えられる。2～3年前に高級ブランド品や美術品を購入した顧客からも、この1年は買い控えるとの声が聞かれる。
百貨店（販促担当）	・英国のEU離脱問題で株価の下落や円高が進むことで、上得意客はもちろん、世間一般にも警戒感が広がり、消費意欲の後退につながりそうである。リオオリンピックの開催のほか、気温が高くなることで外出も減るため、状況は厳しい。政策によって景気を押し上げるなど、日本経済は悪くないと思わせる動きに期待したい。
百貨店（サービス担当）	・来月からの夏物クリアランスセールは、競合する在阪百貨店と同じ時期での開催となる。ただし、円高や景気の先行き不透明感により、前年実績の確保に苦戦する状況には変化がない。
百貨店（販売推進担当）	・英国のEU離脱問題や、株価の下落、円高による影響が出る。
百貨店（外商担当）	・欧州の政情不安により、株安が進み続ける。それによって富裕層を中心とした消費マインドの冷え込みが予想される。
百貨店（マネージャー）	・英国のEU離脱問題による金融市場の不安定化により、各方面に心理的な影響が出る。結果として、国内消費を支えている消費者の購買心理も更に悪化し、様子見状態が続く。また、団塊の世代をはじめとする購買力の強い世代が将来への不安を感じ、消費への慎重姿勢が更に強くなる。
百貨店（売場マネージャー）	・英国のEU離脱問題の影響で円高傾向になれば、インバウンドが激減すると思われる。国内需要だけではカバーしきれず、かなり厳しい状況になる。
百貨店（マネージャー）	・参議院選挙に伴う政局の混乱や、英国のEU離脱問題による円高、株安などに伴う、景気の下振れが懸念される。特に、百貨店の中心顧客である富裕層の消費意欲の減退には注意が必要である。価格帯ごとの商品の構成比を見直すほか、消費意欲を喚起させる販促施策を検討し、実施する方針である。
スーパー（経営者）	・英国のEU離脱問題で金融不安が広がる。
スーパー（店長）	・ファミリー層の人口流出、高齢者の死亡などによる人口減が止まらない。
スーパー（店長）	・英国のEU離脱問題による金融不安、米国の大統領選挙など、世界経済の先行き不透明感が強いいため、生活防衛意識が更に強まる。
スーパー（店長）	・経済への不安が払しょくされておらず、英国のEU離脱問題による余波も予想されるため、消費者の節約志向はますます強まっていく。
スーパー（経理担当）	・英国のEU離脱問題による円高、株安傾向は、今後のマイナス要因となる。猛暑予測はどちらかといえばプラス要因であるが、当面はマイナス要因の方が強く影響しそうである。
スーパー（開発担当）	・英国のEU離脱問題の動向次第で、どう転ぶか分からない。
スーパー（管理担当）	・参議院選挙を控えているほか、英国のEU離脱問題によって世界経済に良い影響が出るとは考えにくいいため、更なる景気の悪化が懸念される。夏に向けて、消費の落ち込みに拍車がかかりそうである。
スーパー（企画）	・急激な円高、株安、英国のEU離脱問題、参議院選挙、社会保障財源、高齢化、人口減少問題など、先行きに対する不安は尽きず、生活防衛のために消費は増えない。
コンビニ（店長）	・同じエリアに競合店がオープンするため、来客数に影響が出る。
コンビニ（広告担当）	・参議院選挙の動向や、英国のEU離脱問題による円高など、不安定要素が多く、一般消費者にとって明るい話題が少ない。
衣料品専門店（営業・販売担当）	・夏物スーツやシャツ、ジャケットのオーダーは順調に増加しているが、今後は英国のEU離脱問題や、国内政治の変化による影響を受けるかもしれない。
乗用車販売店（経営者）	・消費税増税ができなかったのは、それほど個人消費が力強くないからだと思われる。今後は英国のEU離脱問題が、株や為替の大きなマイナス要因になる。
乗用車販売店（経営者）	・英国のEU離脱問題によって金融市場が混乱している。株価の下落や円高が、日本経済、特に輸出関連企業に影響を及ぼしているため、しばらくの間は景気が向上かない。

乗用車販売店（営業担当）	・6～7月以降はキャンペーンも終了し、客の購買意欲も元の低調な状態に戻る。最近では先行きの不透明感から、景気対策への不安が、不信へと変化したユーザーの声をよく耳にする。
その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・株価の低迷などのマイナス要因が次第に影響し、客の購入姿勢がより慎重になってくる。
高級レストラン（企画）	・経済の情勢不安による企業収益の悪化や、円高によるインバウンド関連の受注減少を懸念している。
一般レストラン（経理担当）	・当面は、企業心理や消費者心理の悪化が重荷となりそうである。
その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・英国のEU離脱問題により、米国の大手金融機関の破たん後のように景気が落ち込む。
観光型ホテル（経営者）	・この先は婚礼の予約があまり入っておらず、例年ほどは関連売上が見込めない。
観光型ホテル（経営者）	・経済的な変動の影響が、これから大きく出てくる。これまではインバウンド客の増加で安心していましたが、これだけ円高になると今後は期待できない。
観光型旅館（団体役員）	・春から始まっている耐震工事などで、ホテルの客室数が地域全体で不足する状態が、2年近く続くのではないかと思われる。その間に、温泉目当ての客が他地域に流れていくことへの懸念が強い。
都市型ホテル（支配人）	・英国のEU離脱問題による影響はかなり出てくると思われる。国内景気は上昇する材料が見当たらず、しばらくは停滞が減退傾向になる。
旅行代理店（店長）	・今は経済環境が厳しく、旅行先にも不安があるため、安定するのを待っていると感じる。
タクシー運転手	・今後は修学旅行も下火となり、従来の流し営業となる。
通信会社（企画担当）	・英国のEU離脱問題による株価低迷や、円高の動きが気になる。
テーマパーク（職員）	・伊勢志摩サミット後の経済の出鼻をくじくように、英国のEU離脱問題が発生している。今後の混乱を考えると、打ち出す必要のある対策はいくつもあるが、参議院選挙を控えた状況では、結果的に後手に回らざるを得ない。落ち込みを防ぐというよりも、損失の穴埋めの意味合いが強くなりそうである。
その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・観光に関する動き自体は大きく変わらないものの、消費単価がやや低下している。
美容室（店員）	・残暑の影響にもよるが、涼しくなると髪を伸ばす傾向になるため、来店周期が延びる。
住宅販売会社（経営者）	・顧客数の減少が今後の売上に響いてくる。
住宅販売会社（従業員）	・大阪市内のタワーマンションの主な購入層である投資家が、英国のEU離脱問題などの世界経済の先行き不透明感から、様子見の動きとなる。
住宅販売会社（総務担当）	・英国のEU離脱問題の影響で、株価の下落や円高が進んでいる。先の見えない状況で、高額品の購入の買い控えにつながると判断される。
その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・英国のEU離脱問題により、円高が進む。
その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・EU内での混乱や、離脱国が追加発生することへの懸念のほか、その対策に労力が割かれることで、経済にはマイナスの影響が出る。
悪くなる	<p>商店街（代表者）</p> <p>一般小売店〔衣服〕（経営者）</p> <p>一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）</p> <p>一般小売店〔衣服〕（経営者）</p> <p>一般小売店〔酒〕（社員）</p> <p>百貨店（マネージャー）</p>
	<p>・非常に雰囲気が悪く、買物にも消極的になってきている。</p> <p>・確実に悪化が進んでいる。全体的な悪化傾向に加え、6月は極端な株安が響き、大口の顧客が財布のひもを閉じ始めた。過去の苦い記憶が頭をよぎり始めている。</p> <p>・英国のEU離脱問題による影響が出る。</p> <p>・来店した消費者から、将来への不安の声がよく聞かれる。来客数、販売数が前年を下回っていることもあり、消費者が将来への不安を口にすると、今後の景気が良くなるとはどうしても思えない。</p> <p>・インバウンド消費の減少と、英国のEU離脱問題による円高の進行により、消費意欲の減退が見込まれる。</p> <p>・英国のEU離脱問題により、世界経済の不安定さがより一層強まった。当面は為替や株価が不安定な値動きとなることが予想される。現状は苦戦が続く中間層に加え、逆資産効果による富裕層の消費減退も懸念される。</p>

		スーパー（店長）	・足元で個人消費が足踏みとなっているほか、7月末からは昨年のプレミアム付商品券の反動が出てくる。また、英国のEU離脱問題による円高、株安で、富裕層の消費が減退するほか、中間層のボーナス商戦にも影響が出てくる。
		衣料品専門店（経営者）	・英国のEU離脱問題への報道が、オオカミ少年のような効果を生み、財布のひもがより固くなっている。気分転換に都心に出てくること自体を自粛している。
		衣料品専門店（経営者）	・英国のEU離脱問題による、株価暴落や円高などの影響は少なからず出てくる。ただし、昨日は円が一時99円台になったが、最後は102円まで戻したこともあり、どれだけの影響が出るかはまだ不透明である。
		衣料品専門店（経営者）	・昨年よりも来客数、売上が2～3割落ちている。今後も悪くなる要因は多く、消費者の間で不安感が高まっているのが現状である。
		乗用車販売店（経営者）	・そろそろボーナスを見込んでの商戦となるはずが、動きが全くない。大手自動車メーカーの燃費不正問題も含め、爆弾に頭を抱える日々がいつまで続くのかが分からない。
		乗用車販売店（販売担当）	・英国のEU離脱が決定し、株安、円高が進んでいる。日本経済の先行きが不安である。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・英国のEU離脱問題や中国の景気後退が、国内の株安や円高につながることで、様々な面での投資意欲の減退が更に進む。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・円高が進むなかで、金相場が上がってきているため、コストに対する価格の設定が合わなくなってくる。
		一般レストラン（経営者）	・飲食店は天候に左右されるが、この夏は猛暑といわれており、商店街の人通りが減るため、来客数が増えることは期待できない。
		観光型旅館（管理担当）	・英国のEU離脱問題による様々な影響が取りざたされ、顧客層の財布のひもは更に固くなる。
		都市型ホテル（総務担当）	・訪日外国人、国内の旅行者共に、予約件数が減少傾向にある。それに加えて、英国のEU離脱問題に伴う円高の影響が懸念される。
		競輪場（職員）	・英国のEU離脱問題により、為替レートや株価に深刻な影響が出てきそうである。これらの不安要素による国内景気の悪化が懸念される。
企業 動向 関連 (近畿)	良くなる	木材木製品製造業（経営者）	・今後は受注量、販売量共に増加し、売上、利益の増加が見込まれる。
		建設業（経営者）	・下半期に向けて、今の状況がしばらく続くと予想される。
	やや良くなる	食品製品製造業（営業担当）	・梅雨が明ければ、猛暑になると予想されているため、飲料水の売上が伸びてくる。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・関東方面からの受注が伸びている。関西圏内の伸びは見込めないが、それをカバーする以上の動きがある。仕事がパンク状態にある関東の受け皿になっている形ではあるが、しばらくはこの動きが続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・安倍政権が壁にぶつかり、少し慎重に行動するようになるのではないかと。特に安倍総理は慎重な人なので、一時的に善政を行うため、少しは秩序が良くなる。
		通信業（管理担当）	・ボーナス商戦が本格化する。
		金融業（営業担当）	・東京オリンピックに関する動きは良いが、特徴のある業種が優位に立つ形となっている。一方、英国のEU離脱問題に伴う今後の動向には注意が必要である。
	変わらない	繊維工業（団体職員）	・昨年よりも増産傾向ではあるが、需要そのものの動きは特に良くなっていない。
		繊維工業（総務担当）	・工夫や改善がなければ、客を集めても販売が伸びる催事にはならないため、今こそ企画力が重要になっている。
		家具及び木材木製品製造業（営業担当）	・受注量に変化がない。
パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）		・良くなる要因が見当たらない。	
出版・印刷・同関連産業（営業担当）		・夏の需要は年々低下傾向にある。今年も今のところは前年並みであるが、特需も見当たらない。売上全体も昨年と同様の推移であり、特に伸びが目立っている業種もない。	
窯業・土石製品製造業（経営者）		・中小のメーカーは、電気やガスの料金の变化に大きく左右される。これは中小企業の努力の範囲を超えた部分であり、景気は悪いと感じる。	
金属製品製造業（管理担当）		・大手電機メーカー関連の受注量が不透明なため、先行きが不安である。関西では目立った案件の情報がない。	
金属製品製造業（営業担当）		・売上が増える話もあるが、反対に減る話も出てきている。	
一般機械器具製造業（経営者）		・大型案件に伴う出荷が続くので、ここ数か月は安定した売上が見込める。	

一般機械器具製造業 (設計担当)	・ 上向きや下向きの変化はあると思うが、全体ではプラスマイナスゼロになりそうである。
電気機械器具製造業 (経営者)	・ 今のところは不透明感が漂っているが、今回の英国のEU離脱問題があり、各企業が戸惑っているため、しばらくは静観して対応を考えていきたい。
電気機械器具製造業 (経理担当)	・ 最近の状況においても、良くなる要因が見当たらない。
電気機械器具製造業 (宣伝担当)	・ 2か月先も猛暑が続いていると予想されるなか、季節要因による活発な荷動きが続く期待もあるが、エアコンは8月になると荷動きが落ち着く傾向にあるため、景気に変化はない。
輸送用機械器具製造業 (経理担当)	・ 航空機関連の受注がどの程度入ってくるかが、キーポイントになってくる。
その他製造業 [事務用品] (営業担当)	・ 新商品の受注にもそれほど変化がないため、変わらない。
その他製造業 [履物] (団体職員)	・ 個人消費の減少により、百貨店などの売上が伸びておらず、靴メーカーへの発注も減っている。
建設業 (経営者)	・ 大手企業の株主総会の時期である。好決算の企業は引き続き設備投資が期待されるが、技能労務者の確保や賃金が高騰するなかでの競争が予想される。
輸送業 (営業所長)	・ 大きな変化が見込まれる配送案件が少ない。
金融業 [投資運用業] (代表)	・ 英国のEU離脱問題がどの程度影響するかにもよるが、結局は短期間で落ち着き、限定な影響にとどまると予想される。
不動産業 (営業担当)	・ 将来的にも神戸から事業所や事務所が流出すると思われるため、厳しい状態が続く。
広告代理店 (営業担当)	・ 取引先は、季節の変化や、近隣商圏のニーズに合った商品を展開しているが、店舗の改装効果が薄れてきている。
広告代理店 (営業担当)	・ しばらくは、広告の発注増が続きそうな雰囲気がある。
広告代理店 (営業担当)	・ 今年に入ってWeb媒体、紙媒体共に、前年の売上を下回っている。
司法書士	・ 英国のEU離脱問題がどう影響するか分からないが、先月からは状況に大きな変化がないため、2~3か月先も変わらない。
経営コンサルタント	・ アジアからのインバウンド客の関心が、買物から体験へとシフトする兆候があり、ここに新たな商機を見出そうとする小売業、サービス業が増えている。ただし、英国のEU離脱問題など、我々の手には負えないマイナス要素もあり、事業意欲にブレーキがかかっている。本当に先行きは分からない。
コピーサービス業 (店長)	・ 問い合わせの動きにも変化がないため、しばらくは現状維持で推移する。
その他サービス業 [店舗開発] (従業員)	・ 中国に人気テーマパークが開業した影響は一過性であり、数か月後には関西のインバウンド需要は回復すると予想される。2005年に香港でテーマパークが開業した際も、数か月はダメージが出たが、その後は大幅に回復した。
やや悪くなる	<p>食料品製造業 (従業員)</p> <p>・ 英国のEU離脱問題もあり、一時的には為替も動いたが、それ以前から徐々に荷動きが悪くなるなど、業界全体が良くない。以前は一部のメーカーの売上が落ちてても、ほかのメーカーの販売が伸びるなど、業界全体でバランスが取れていたが、最近は極端な目玉商品を出さないかぎり、売上増となることはない。</p> <p>食料品製造業 (経理担当)</p> <p>・ 英国のEU離脱問題による円高や、参議院選挙後の不透明感など、中小企業や消費者にとっての好材料がない。</p> <p>繊維工業 (総務担当)</p> <p>・ 消費者の間で靴下の購入意欲が減退している。今後、この傾向は更に顕著になってくる。</p> <p>化学工業 (企画担当)</p> <p>・ 夏季の食品需要低迷期に突入する。円高の影響で、海外原料のコスト低下メリットが発生するものの、効果が出るのは秋以降となる。</p> <p>電気機械器具製造業 (営業担当)</p> <p>・ 英国のEU離脱問題による影響が、どう出てくるかは分からない。</p> <p>電気機械器具製造業 (営業担当)</p> <p>・ 先月よりも受注は増えているが、必要量には届かず、まだまだ不足している。</p> <p>建設業 (経営者)</p> <p>・ 人手不足による工事量の減少と、人材確保のための人件費の上昇により、利益の減少が予想される。</p> <p>輸送業 (営業担当)</p> <p>・ お中元の贈答をやめる企業が増えているようで、百貨店からの配送予約が減っている。</p> <p>輸送業 (商品管理担当)</p> <p>・ お中元の季節となり、受注量は増加しているが、2~3か月でまた元に戻る。</p>

		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・周囲から良い話が聞かれない。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・世界の経済環境がおかしくなり、状況が悪化している。英国のEU離脱問題が大きいと思われるが、今後は更に状況が変化してくる。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・製品開発の遅れが、不調の主な要因と考えたいが、競争力もなくなっている。
悪くなる		化学工業（経営者）	・現在、得意先に今後の見通しについてのヒアリングを実施しているが、美容とロボット業界以外は、非常に悪いとの声が聞かれる。
		化学工業（管理担当）	・英国のEU離脱問題による、世界的な為替市場の不安が当分続くと考えられる。
		金属製品製造業（経営者）	・英国のEU離脱問題による世界的な株価、為替の変動で、経済に影響がどれだけ出るかが、製造業にとっては大きな問題である。
		経営コンサルタント	・アベノミクスもメリットとデメリットがはっきりしない状況であったが、英国のEU離脱問題に伴う、円高、株安の影響は非常に大きい。今後は日本の大企業から零細企業にまで様々な悪影響が出ると予想されるため、先行きの見通しは良くない。
		その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・英国のEU離脱問題で株安や円高が進むなか、先行きが全く見通せない。日本の金融政策も具体的ではなく、マイナス金利の影響も含め、現状の課題を克服するような政策が見当たらない。
雇用 関連 (近畿)	良くなる	-	-
	やや良くなる	民間職業紹介機関（職員）	・建設日雇い求人数は大幅に落ち込んでいたが、平年並みの落ち込みまで回復しつつある。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・今回の英国のEU離脱問題が株価、為替に影響し、その結果、企業業績も悪くなる。ただし、安倍首相の消費税増税の再延期もあって、人材は幅広い業種で必要となり、特にIT関連では人材不足となる。
		人材派遣会社（支店長）	・やや良くなる傾向が、当面は継続する見通しである。
		職業安定所（職員）	・このところは新規求人数が増加している一方、新規求職者数は減少しており、雇用失業情勢は改善傾向で推移している。また、管内事業所への今後の展望についてのヒアリングでは、現状維持とする事業所が多い。
		職業安定所（職員）	・新規求人数は増加傾向にある一方、新規求職者数は減少傾向が継続している。それに伴い、新規求人倍率は上昇しているが、大多数の事業所は今後も現状維持とみている。
		学校〔大学〕（就職担当）	・慢性的な人材不足となるなか、今後は英国のEU離脱問題の影響が、日本の雇用および経済全体に及んでくる。ただし、すぐに影響が出るかどうかは不透明である。
		学校〔大学〕（就職担当）	・参議院選挙や英国のEU離脱問題など、先が読みにくい。
	やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・経済が停滞し、景気が安定しない状態が長く続けば、雇用条件も不安定となり、離職者の増加が予想される。
		人材派遣会社（支店長）	・英国のEU離脱問題による急激な円高、株安の影響で、更に悪くなることが予想される。
人材派遣会社（役員）		・企業の採用者数をみると、優秀な若年層は採用するが、そのほかの労働者の採用意欲は落ち込んでいる。一時の企業のおう盛な採用意欲は後退している。	
アウトソーシング企業（管理担当）		・仕事が減り、単価の安い仕事ばかりという状態が続く。	
新聞社〔求人広告〕（担当者）		・英国のEU離脱問題による影響がどう出るのか、全くの未知数である。	
職業安定所（職員）		・英国のEU離脱問題が、世界経済に与える悪影響が懸念される。特に、為替が円高方向に進む見込みが高いことから、製造業をはじめとする輸出産業の業績悪化が懸念される。	
民間職業紹介機関（営業担当）		・英国のEU離脱問題に端を発し、急激な円高による企業業績の悪化、欧州の不安定化などの問題が世界に波及し、採用の抑制につながると考えられる。2～3か月では、やや悪くなる程度であるが、年単位で見ると悪くなる。	
民間職業紹介機関（営業担当）		・新入社員の入社で人手不足が充足されたほか、季節的な変動もあり、求人数が減少している。	
民間職業紹介機関（マネージャー）		・英国のEU離脱問題による円高の進行で、メーカーの採用が慎重になる可能性がある。	
学校〔大学〕（就職担当）	・採用者数を絞る企業が増え出したことから、中小企業の新卒採用が可能になるものの、景気の先行きは不透明である。		

	悪くなる	新聞社 [求人広告] (管理担当)	・英国のEU離脱問題は、巨大なダメージを世界経済に与える。株価は1,300円近く下がり、円相場も一時100円を切る形となった。輸出企業がダメージを受ければ、それを支えている関西の中小企業にも大きなダメージとなるため、今後は日本の景気が間違いなく悪くなる。
--	------	--------------------------	---